

第23回

日本バーチャルリアリティ学会大会

The 23rd Annual Conference of the Virtual Reality Society of Japan

2018年9月19日(水) — 21日(金)

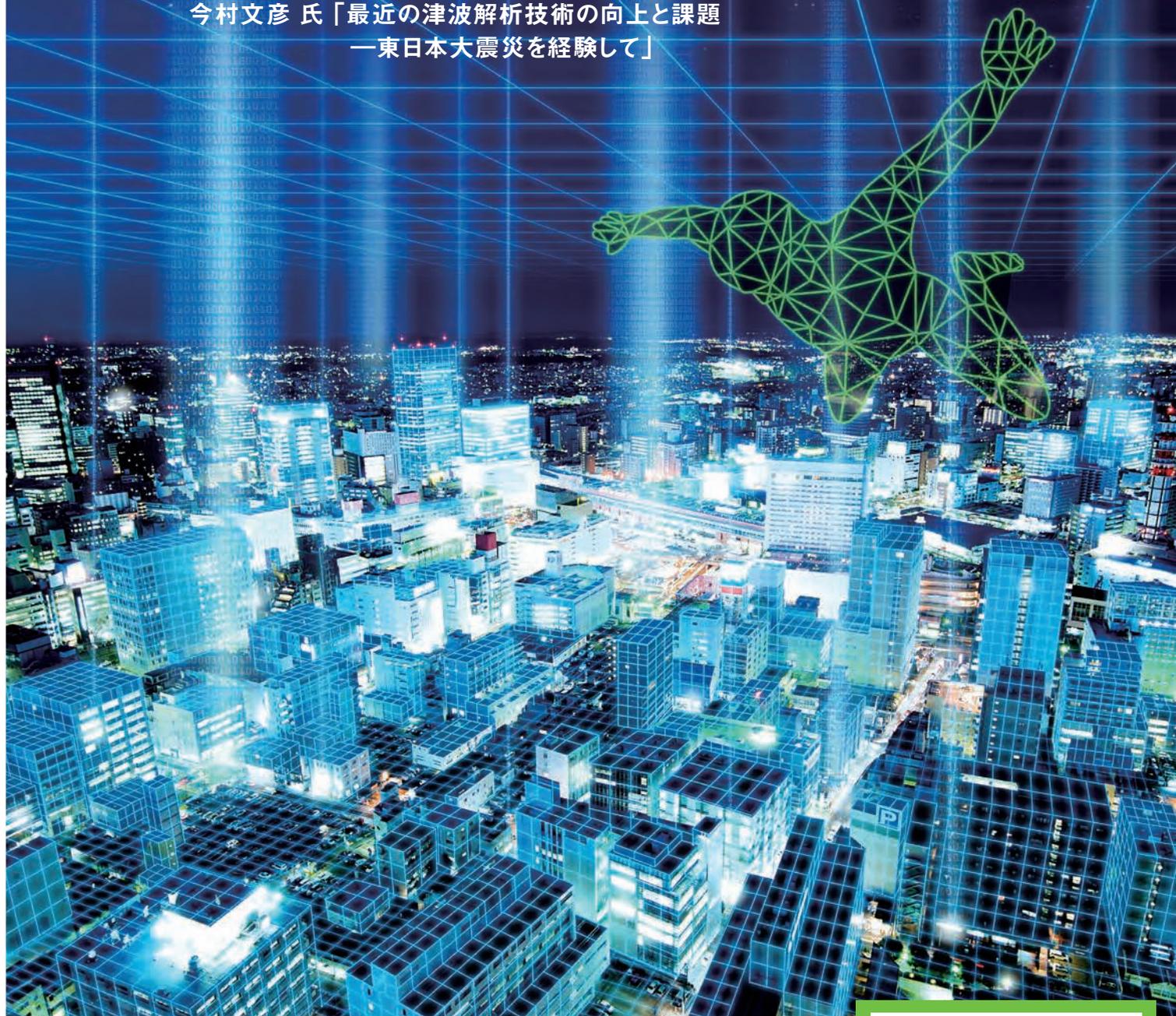
東北大学 青葉山新キャンパス

口頭発表 (一般セッション、オーガナイズドセッション)

技術・芸術展示、企業展示

特別講演: 北濱兼一 氏「トヨタのパートナーロボット開発」

今村文彦 氏「最近の津波解析技術の向上と課題
— 東日本大震災を経験して」



主催: 日本バーチャルリアリティ学会 (VRSJ)
大会長: 吉澤 誠 (東北大学)
プログラム委員長: 高嶋 和毅 (東北大学)

大会事務局
幹事: 杉田 典大 (東北大学)
E-mail: vrsj.ac18.info@gmail.com

事前申込締切

2018年
7月27日(金)

<http://conference.vrsj.org/ac2018/>

第23回

日本バーチャルリアリティ学会大会

The 23rd Annual Conference of the Virtual Reality Society of Japan

日本バーチャルリアリティ学会大会は、日本最大のバーチャルリアリティに関する学術会議です。毎年200件以上の講演、約40件の新しい技術やアートのデモンストレーション、企業展示など、バーチャルリアリティの最先端が集結します。仙台にぜひお越しいただき、最先端のバーチャルリアリティ技術を体験してください。

スケジュール

9月19日(水) | 口頭発表 (一般セッション・オーガナイズドセッション)
技術・芸術展示、企業展示

9月20日(木) | 口頭発表 (一般セッション・オーガナイズドセッション)
技術・芸術展示、企業展示
特別講演
北濱 兼一 氏 (トヨタ自動車)
「トヨタのパートナーロボット開発」
今村 文彦 氏 (東北大学)
「最近の津波解析技術の向上と課題
—東日本大震災を経験して」
技術交流会 (懇親会)

9月21日(金) | 口頭発表 (一般セッション・オーガナイズドセッション)
技術・芸術展示、企業展示

発表分野

【バーチャルリアリティに関する先進的内容】

センシング／生体信号／アート／モデリング／
シミュレーション／五感／教育・訓練／作業支援／
インタフェース／コンピュータビジョン／エンターテインメント／
デジタルミュージアム など

会場・アクセス

東北大学 青葉山新キャンパス・青葉山コモンズ
仙台駅から仙台市地下鉄東西線に乗車し青葉山駅で下車。徒歩約5分。

お問い合わせ

大会事務局幹事: 杉田 典大 (東北大学)
Email: vrsj.ac18.info@gmail.com



北濱 兼一 氏 (きたはま けんいち)
トヨタ自動車株式会社
未来創生センター Z-フロンティア部
企画推進室 室長

1995年 東京大学大学院工学系研究科修士卒、トヨタ自動車(株)入社
自動運転車やロボットの開発に従事。
現在は、ロボット技術を活用した社会システムの企画・開発を推進。
人と共存するロボットの開発状況や実用化事例を紹介する。



今村 文彦 氏 (いまむら ふみひこ)
東北大学
災害科学国際研究所 所長
津波工学分野 教授

東北大学大学院博士後期課程修了。東北大学工学部土木工学科助手、同大学院工学研究科附属災害制御研究センター助教授を経て、現職。

主な専門分野は、津波減災技術と自然災害科学、さらに、数値解析、津波防災技術開発など。東日本大震災復興構想会議検討部会、中央防災会議東北地方太平洋沖地震を教訓とした地震・津波対策に関する専門調査会、宮城県震災復興会議などのメンバー。

東日本大震災では大津波の発生により多大な被害を生じ、いまだに沿岸部での復興は途上である。現地調査や解析から浮かび出された津波解析技術の問題点とその後の改善、今後の課題などを紹介する。